

FC 展開好調で新事業にも進出

さくら介護グループが 300 加盟店へ

① さくら介護グループ (中区加古町一三一一二、田本慎二社長) は、展開している介護事業のフランチャイズチェーン (FC) システムが好調に推移しており、さらに新規事業として高齢者専用賃貸事業や予防介護事業にも進出する。

② 全国で展開する介護事業の FC は、この約一年間で六十加盟店を獲得して六月末現在で二百十拠点を擁する。広島本社をはじめ東京本部や近畿本部、北九州本部など全国各地に核となる本部を開設し、それらを起点に地域に根づいた接骨・整体治療院や地元企業などと FC 契約を

結んで、訪問介護や通所介護などをを行うもの。

③ 加盟店のオーナーは、訪問介護事業所を開設する場合のノウハウや介護に関する最新情報の提供、開設後の煩雑な事務手続きなど万全なサポートが受けられる。ちなみに六月は埼玉、愛媛、岡山、愛知で拠点を開設しており、年度内三百拠点を目標にしている。

④ また、新規事業の高齢者専用賃貸事業は、地元のオーナーが建設して来年五月オープン予定の高専賃「さくらコンフォート本郷」(三階建て三十戸) の運営管理を担当するもの。三原営業所をそのまま移転させ、近隣の病院との連携も視野に入れている。加えて四月には予防介護とともに、利用者のサービス向上を目的に、関連会社「⑤ さくらモンデックス」(東京都) を設立。マッサージをはじめ東洋医学の専任スタッフが各拠点を回り好評を博しているようだ。

⑤ 加盟店のオーナーは、訪問介護事業所を開設する場合のノウハウや介護に関する最新情報の提供、開設後の煩